

めいろであつめて!

だい 第 3 かい 回

エコワード

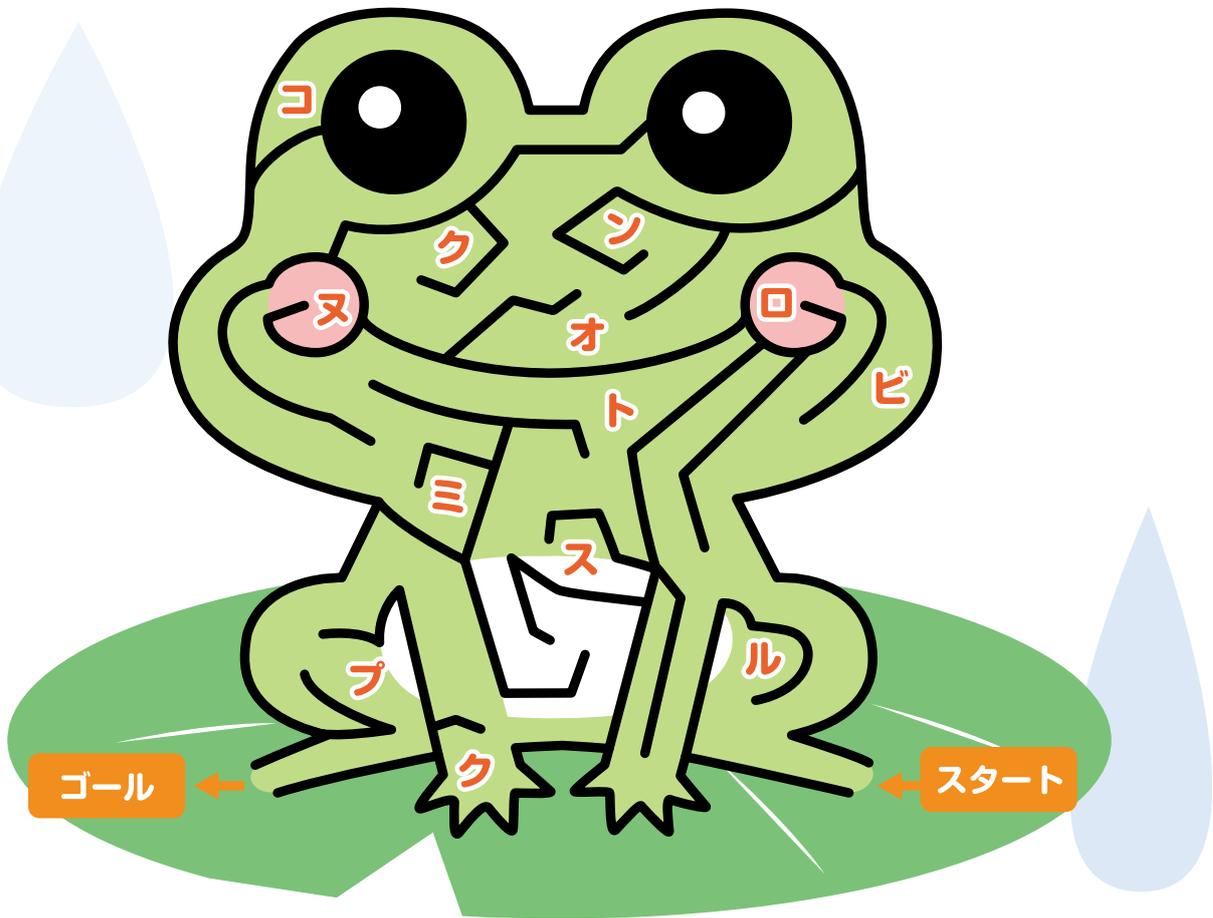


もんた もんきち

めいろをたどって、集めた文字を○に入ると、
 今回のエコワードが完成するよ。
 もんた・もんきちと一緒に
 そのことばについて学ぼう。



テラ兄



今回のエコワード

○ ○ ○ — ○

その地域の生き物が生活する場所のこと。
 なくした自然をとりもどすために人の手で作られるものもある。

ビオトープというのは「生き物」を表すビオと、「場所」を表すトープを合わせたことばで、「いろいろな野生の生き物がくらせる場所」を表すよ



じゃあ、自然の山や川はビオトープなんですね

そう。それに、人間がつくった池や田んぼ、雑木林なんかもそうだよ



じゃあ、花だんもビオトープだね？

うーん。それはちょっとちがうかも…



どうして？

ビオトープの大事なポイントは「もともとその地域にいた、いろいろな種類の生き物がくらす」ということなんだ。花だんの多くは、その地域になかった植物が植ええられるから、ビオトープとはちょっと言いがたいね



なるほどなあ

どうして今回、この言葉を紹介したかという、多くの地域の生き物がピンチになっているからなんだ



もしかして、森を切り開いて工場や家を建てたり、道路をつくったりしたからかな？

そうだね。人間の生活が便利になる一方で、その地域にいた生き物にはくらしにくい環境になってしまった



なんてこった！

そこで、ビオトープがつくられるようになった



どうやってビオトープをつくるんですか？

川や公園の一部に林や沼をつくったり、学校の庭に池をつくったり。また、畑をつくるときに林やしげみを一部残しておくという取り組みもある



いなくなった生き物がもどってこれるような環境を整えるんですね



近所でも生き物がたくさん見られるようになるといいな

人工的につくられたビオトープの例



答え：ビオトープ